

## 2022 年度 個人研究実績・成果報告書

2023 年 4 月 7 日

所属	商経学部	職名	准教授	氏名	西村修一
研究課題	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導方法・指導技術について				
研究キーワード	教育工学、高等学校教育、産業教育	当年度計画に対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた		
関連するSDGs項目	4. 質の高い教育をみんなに	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	該当なし	該当なし	
1. 研究成果の概要					
<p>2022 年度高等学校入学者から新しい学習指導要領が実施されている。本学習指導要領においては、生徒が未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成することを目指し、知識及び技能（技術）の習得と思考力、判断力、表現力等の育成とのバランスを重視するとともに、知識の理解の質を更に高め、確かな学力を育成することとしている。しかし、教師によっては、「主体的・対話的で深い学び」を授業に取り入れることが目指すゴールであるかのように捉えるといった誤解が生じている。</p> <p>一方で、高等学校学習指導要領が目指している資質・能力を育成するためには、各学校がその特色を生かして創意工夫を重ねるとともに、長年にわたる教育実践や学術研究の蓄積を生かしながら、生徒や地域の実態・課題を捉え、家庭や地域社会と協力して、学習指導要領を踏まえた教育活動の更なる充実を図っていくことが求められている。</p> <p>こうしたことを踏まえ、従前の高等学校学習指導要領のもとで、優れた指導方法や指導技術を取り入れて実施された授業実践の中から三つを取り上げ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた充実方策を探求した。</p>					
2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）					
【論文（査読あり）】					
なし					
【著書・論文（査読なし）】					
○上記1. の内容を「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導方法・指導技術についての考察」と題した研究論文にまとめ、2022 度の千葉商科大学紀要 60 巻第 1 号に投稿した。					
【学会発表等】					
○2022 年 10 月に、令和 4 年度富山県高等学校教育研究会商業部会研修会において、「令和の商業教育」と題する講演を行った。					
○2023 年 3 月に、日本観光ホスピタリティ教育学会において、「商業高校における観光教育と科目「観光ビジネス」」と題する基調講演を行った。					
3. 主な経費					
上記研究を進めるために、関連書籍の購入や文具代、所属学会の年会費等に使用した。					
4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）					
なし					
（本文は2ページ以内にまとめること）					